

三田カルチャータウン

リフォレ

1990  
~96

“神戸三田”国際公園都市カルチャータウンの兵庫県民間住宅コンペ当選作品である。周辺から高台となる丘陵地の立地特性を生かし、イタリア山上都市をモチーフにした眺望のよい住宅供給と共に、周辺からは表情豊かな眺められる街をテーマにしている。

眺望と丘陵の街景観を生み出すため、敷地形状や稜線沿いに、高層、中層、低層までを含む多様な連続住棟群を配置し、要所を棟状化することによって高密度を図りつつ景観の特化とシンボル性を与えている。また、敷地外周縁部の環状擁壁は、街の城壁としてデザインされ、下部を駐車場、上部をコモン回廊としている。街の内部空間は、中央の広場（コスミックスクエア）を中心に個性のある4つの広場、それらをつなぐ「街路」で構成される。これらの広場には街のエントランスとなるコミュニティセンター（星の聖堂）、料理教室が行われる（火の工房）、陶芸教室が行われる（土の工房）、水が湧き出るテラス（水の工房）、エアロビクス教室などが行われる（気の工房）などの施設があり、領域性のある住棟形態と相まって多様なコミュニティの活性化を意図している。

（実施設計は、長谷工コーポレーションとの共同設計）



■遠景



■配置図

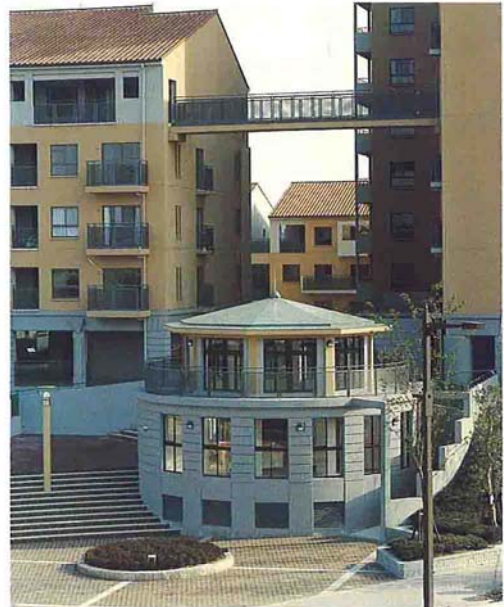
#### コンペ提案

開発テーマは、人とひと、人と自然、自然と都市がよりよい関係を保ちながら、ひとつの街として共生し、次代へ継承される生活文化のランドマークとなるような新しい街づくりです。イタリアの山上都市をモチーフに、暮らしよさ、楽しさをデザインした生活文化の森。「リフォレ」は、そんな街空間づくりを実現しました。

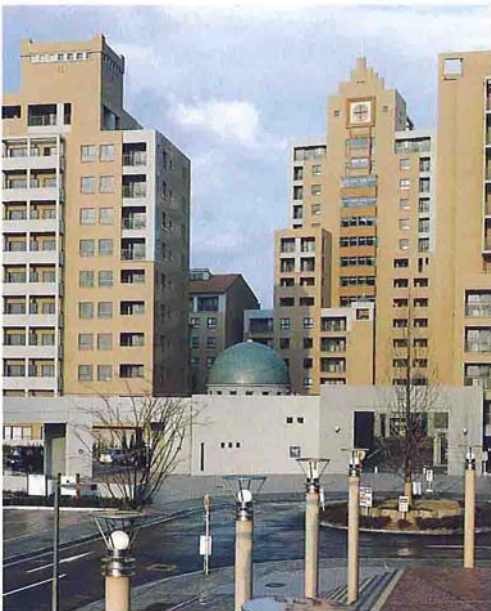




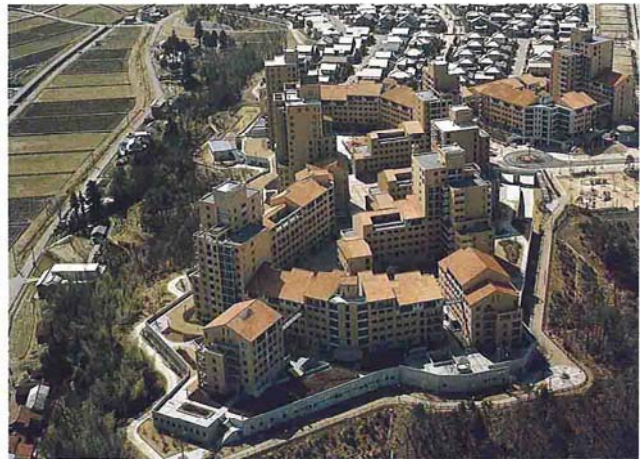
■コスミックスクエア



■火の工房



■火の広場より



■北側遠景

